



週間情報



No.0445

発行日 令和4年11月29日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 令和4年度消防実務講習会（東近畿地区支部）を開催

一般財団法人全国消防協会東近畿地区支部

一般財団法人全国消防協会東近畿地区支部では、令和4年11月4日（金）、京都市中京区の京都烏丸コンベンションホールにおいて、消防職員の知識及び能力の向上を目的として消防実務講習会を開催しました。本講習会は、令和4年度事業計画に基づき開催したもので、予防業務に従事する職員を中心に、29消防本部（局）計39名が出席し、新型コロナウイルス感染症対策を十分に実施した上で講習が行われました。同時に、52消防本部（局）へのWeb配信も実施し、多くの希望する職員が受講することができました。

講習会の内容は、以下のとおりです。

- 講習テーマ 「大阪北区ビル火災を踏まえた防火対策・防災法令の方向」
- 講師 早稲田大学名誉教授 長谷見 雄二 氏
- 講習内容
 - 1 大阪堂島北ビル火災の被害拡大要因
 - 2 類似の特徴をもつ火災事例－新宿歌舞伎町火災（2001）
 - 3 類似の特徴をもつ火災事例－大阪個室ビデオ火災（2008）
 - 4 大阪堂島北ビル火災を契機とする防災行政・法改正の方向
 - 5 その他



【講習会の様子】

◆ 119番受信時の口頭指導技術発表会を開催

岐阜県消防長会

岐阜県消防長会では、令和4年11月9日(水)、「119番の日」に当たり、119番受信時の口頭指導技術発表会を開催しました。

この発表会は、119番通報受信時の口頭指導を披露することで、その知識や技術の向上を図ることを目的として開催したものです。

当日は、県内の消防本部から代表8名の通信指令員が、ブラインド方式の想定で口頭指導技術を披露し、医師や指導的立場の通信指令員から指導、助言を受けました。

発表者は、県内の消防職員約150名が聴講する中、通報者とのやりとりにおいて、的確な情報の引き出し方、伝わりやすい話し方を心掛け、目には見えない傷病者の状態を的確に判断していました。

今後も、県下全域で通信指令員のスキルアップを図り、住民の救命率向上に努めてまいります。



【発表会の様子】

◆ 令和4年度全国消防長会総務委員会秋季常任委員会を開催

全国消防長会総務委員会

令和4年11月18日（金）、愛媛県松山市（ANAクラウンプラザホテル松山）において、令和4年度全国消防長会総務委員会秋季常任委員会を開催しました。

会議における議案等は、次のとおりです。

○ 議題

- (1) 議案1（提案：総務委員会事務局）
第32回全国消防長会総務委員会議題選定及びアンケート（案）について
- (2) 議案2（提案：総務委員会事務局）
次期開催地について
- (3) 報告事項（報告：総務委員会事務局）
第31回全国消防長会総務委員会議題（定年延長に関して）の結果について
- (4) 情報交換（提案：総務委員会事務局）
定年延長に関する現在の取組状況について
- (5) 情報提供（提供：奈良市消防局）
社会的影響の大きい事案における報道対応等について

○ 消防庁講話（消防庁 消防・救急課 荒竹課長）

- (1) 定年引上げに伴う消防本部の課題に関する研究会報告書概要（案）
- (2) 静岡県静岡市で発生した消防職員の殉職事例における消防庁の対応
- (3) オミクロン株対応ワクチンの接種促進のための更なる取組推進について
- (4) 消防本部におけるマイナンバーカードの取得の促進について



【常任委員会の様子】



【委員長あいさつ】

消防本部の動き

行事

◆ 「消防訓練場所の確保の協力に関する協定」を締結

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部（石川）

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部では、令和4年11月14日（月）、一般社団法人羽咋郡市建設業協会と「消防訓練場所の確保の協力に関する協定」を締結しました。

解体予定の建物を訓練場所として提供してもらう協定は県内初であり、これにより、さまざまな構造や間取りの建物で、破壊や屋内での放水を伴う火災防ぎょ活動訓練など、これまでよりも実践的な訓練が可能となります。

この協定は、地域住民の消防活動への理解と期待があつて締結できたものであり、こうした思いに応えられるよう、今後もさまざまな訓練を重ね、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【調印式後の記念撮影】

訓練

◆ 多数傷病者災害対応訓練を実施

大垣消防組合消防本部（岐阜）

大垣消防組合消防本部では、令和4年11月8日（火）、消防本部屋外訓練場において、約50人の職員が参加し、多数傷病者災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、多数傷病者が発生する災害を想定し、迅速、的確に対応する技術を磨くことを目的としており、訓練想定をブラインドとすることで、より実災害に近い状態の中、緊張感のある訓練となりました。

訓練実施後には、評価者から実施隊に対し具体的なフィードバックを行い、これにより次につながる実効性の高い訓練となりました。



【訓練の様子】



【評価者によるフィードバック】

◆ 都市型水害を想定した災害弱者救出訓練を実施

坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部（埼玉）

坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部では、令和4年11月8日（火）、9日（水）の2日間、管内公共施設の協力を得て、プールを使用し都市型水害を想定した災害弱者救出訓練を実施しました。

本訓練は、令和元年東日本台風による管内の被害を教訓として実施したもので、市街地が冠水した際に住宅等から安定して災害弱者を救出する手法の検証を主眼として実施したものです。

災害弱者は、車椅子や寝たきりの方、酸素投与や点滴をしている方を想定したほか、建物2階からの救出を想定するなど、より実践的な訓練となりました。

今後も発災が予想される内容で訓練を実施し、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 秋季火災予防運動に係る消防訓練を実施

瀬戸市消防本部（愛知）

瀬戸市消防本部では、秋季火災予防運動に当たり、令和4年11月9日（水）、瀬戸市矢形町にある住宅型有料老人ホームかざぐるま山口を災害拠点とした消防訓練を実施しました。

当日は、施設の厨房内で火災が発生したことを想定し、施設職員が通報・避難誘導・初期消火・応急救護・情報伝達を実施しました。また、消防車2台及び救急車1台が参加し、指揮隊が情報収集、消防隊が屋内検索・救出・消火、救急隊が救命処置をそれぞれ実施しました。

今後も、自衛消防組織の円滑な初動体制の確立及び消防機関との連携強化を図ってまいります。



【訓練の様子】

◆ チェーンソー安全衛生教育を実施

橋本市消防本部（和歌山）

橋本市消防本部では、令和4年11月9日（水）、チェーンソー安全衛生教育を実施しました。これは、風水害等で発生する倒木等を適切に処理するとともに、誤った取り扱いによる負傷等を防ぐために実施したものです。

当日は、特別教育を受けた職員の指導のもと、チェーンソーの取り扱い、切断方法、整備方法、目立て要領等を確認しました。

倒木等の実災害件数は少なく、実際にチェーンソーで木を切断したことがない職員もおり、有意義な講習となりました。

今後も訓練を重ね、技術向上に努めてまいります。



【チェーンソー安全衛生教育の様子】

◆ 第3回泉州通信指令員救急教育コース（S-EDGEコース）に参加

泉州南消防組合泉州南広域消防本部（大阪）

泉州南消防組合泉州南広域消防本部では、令和4年11月10日（木）、泉州地域MC協議会主催の第3回泉州通信指令員救急教育コース（S-EDGEコース）に参加しました。

このコースは、通信指令員が心理学や医学的知識を交えた講義や、119通報対応訓練を通して口頭指導を学ぶものです。

119通報対応訓練では、応急手当の知識や経験が少ない方が通報者役として、実際の救急要請のような通報を行うことで、受講者は質の高い訓練を受けることができました。

また、通報者の様子を記録動画で確認し、口頭指導中の通報者がどのような行動をするのかを確認して検証しました。

今後も、指導的立場にある通信指令員や救急救命士による教育を継続し、地域の救命率向上を目指してまいります。



【訓練の様子】

◆ 東京電力パワーグリッド株式会社と連携高所救助訓練を実施

千葉市消防局（千葉）

千葉市消防局では、令和4年11月9日（水）、14日（月）の2日間、市内の東京電力パワーグリッド株式会社の千葉総合技術技能訓練センターにおいて、送電線の鉄塔を使用した高所救助訓練を実施しました。

この訓練は、都市型ロープレスキューの実践的な訓練と位置付け、技術の習得及び検証を目的として実施しました。

初日に基礎訓練、2日目に想定訓練を実施しました。想定訓練では、鉄塔付近での宙づり事故などを想定し、迅速かつ安全に救出する方法の検証を行い、技術の習得を図りました。

訓練を通じて、鉄塔上での作業の難しさを体感でき、非常に有意義な訓練となりました。

引き続き同社と連携しつつ、技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 今治地方観光旅館ホテル同業組合・旅館組合島嶼支部と合同で総合防災訓練を実施

今治市消防本部（愛媛）

今治市消防本部では、令和4年11月15日（火）、同市中浜町のホテル菊水今治において、今治地方観光旅館ホテル同業組合・旅館組合島嶼支部と合同で総合防災訓練を実施しました。

これは、旅館ホテル組合員の初動対応の確認や防火意識の高揚と、有事に備えて人命救助を主眼とした避難誘導・救出救護等について関係機関と連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、約80人が参加し、「ホテルの2階厨房から出火して各階に逃げ遅れ者がいる。」との想定で、ホテル従業員が初期消火、119番通報、避難誘導を実施し、消防部隊が逃げ遅れ者の救出、延焼の阻止、避難者の救護等を実施しました。

今後も、観光客と市民の安全・安心を守るため、各宿泊施設と合同訓練を実施してまいります。



【訓練の様子】

◆ 消防救助技術記録会を実施

菊池広域連合消防本部（熊本）

菊池広域連合消防本部では、令和4年11月15日（火）、16日（水）の2日間、消防救助技術記録会を実施しました。

この記録会は、来年度の県消防救助技術大会に向け、年度途中で記録会を行うことで、救助技術の維持向上を図るとともに、体力、精神力を養い4月の選考会に臨むことを目的として初めて実施したものです。

また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う救急出場の急増などにより、訓練時間の確保が難しい中で、若手職員への技術の伝承も見据えています。

記録会後の検証会では、「目標となるものが増えたことにより、年間を通して訓練ができることで一層の強化が図られる大変有意義なものとなった。」などの意見が出ました。



【記録会の様子】

◆ 陸空連携合同訓練に参加

勝山市消防本部（福井）

勝山市消防本部では、令和4年11月17日（木）、西日本最大級スキー場であるスキージャム勝山のゲレンデにおいて、福井県防災航空事務所主催の陸空連携合同訓練に参加しました。

この訓練は、昨シーズン同スキー場であった2件の遭難事案を基に、スキー客5名がコースから外れてバックカントリーをしていたところ、1名が転倒負傷し、自力でコース内に戻れなくなり、日没が迫っているという想定で実施しました。

当日は、陸上部隊（警察・消防・スキー場パトロール隊）と航空部隊（県警ヘリ・県防災ヘリ・県ドクターヘリ）が連携し、救助方法や無線運用方法等を再確認する有意義な訓練となりました。

今後も実践的な訓練を継続し、災害対応力の充実強化を図ってまいります。



【訓練の様子】

研 修 等

◆ 高齢者福祉施設職員を対象とした救急研修会を実施

新潟市消防局（新潟）

新潟市消防局では、令和4年11月8日（火）、高齢者福祉施設職員を対象とした救急研修会を実施しました。

この研修会は、当市の救急事情や高齢者福祉施設での救急発生状況等について紹介し、その内容について救急隊員とディスカッションを行うとともに、救急車を要請して困ったことや救急隊に伝えてほしい情報等について意見交換するなど、今後の活動における連携強化を目的として実施したものです。

研修会を通じて、救急隊員、高齢者福祉施設職員の双方とも有効性を実感しており、今後もより質の高い救急体制の構築に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 石油ストーブを使用した燃焼実験及び火災調査実習を実施

草加八潮消防局（埼玉）

草加八潮消防局では、令和4年11月10日（木）、秋季全国火災予防運動に当たり、青柳分署において、石油ストーブを使用した燃焼実験及び火災調査実習を実施しました。

これは、暖房器具の使用頻度が多くなる冬季に向けて、石油ストーブを起因とした火災の燃焼実験及び石油ストーブ付近からの出火を想定した火災調査実習を実施したものです。

この実験・実習を通じて、石油ストーブによる出火のメカニズムを理解するとともに、調査時のポイントを学ぶことができました。

今後も、この知識と技術を生かして火災予防や市民防災の向上に努めてまいります。



【吹き返し現象のメカニズムを再現】



【実習の様子】

◆ 人材育成・ハラスメント研修会を開催

埼玉県南西部消防局（埼玉）

埼玉県南西部消防局では、令和4年11月11日（金）、講師にサニーカミヤ氏をお招きし、人材育成・ハラスメント研修会を開催しました。

ハラスメント対策は、組織に対して高い倫理観とコンプライアンスが求められる現代において重要な課題であり、本研修会は、講師から人材育成の重要性や指導方法を学ぶことを通じて、ハラスメントを許さない組織風土を醸成することを目的として開催しました。

今後も、適切な人材育成を行うことでハラスメントを撲滅し、より一層の働きやすい職場環境の実現を目指してまいります。



【研修会の様子】

◆ アンガーマネジメント研修会を開催

大牟田市消防本部（福岡）

大牟田市消防本部では、令和4年11月17日（木）、18日（金）の2日間、消防安全衛生委員会の研修計画に基づくハラスメント防止研修の一環として、全職員を対象にアンガーマネジメント研修会を開催しました。

この研修会は、株式会社アニメートエンタープライズの宮崎順子氏を講師に迎え、正しい「怒り」のコントロールについてご講演いただきました。

研修会では、「怒り」とは自然な感情の一つで、なくすことは不可能であることを前提として、怒る必要があること、必要がないことを自分でコントロールすることの重要性、効果的な叱り方などを教えていただき、ハラスメント予防及び対策の重要性を改めて実感することができました。

今後も、全職員を対象とした研修会を継続的に実施し、良好な人間関係、職場環境、心身の健康づくりの向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

その他

◆ 直木賞作家の今村翔吾さんらに感謝状を贈呈！

京都市消防局（京都）

京都市消防局では、令和4年11月9日（水）、秋季火災予防運動に当たり、直木賞作家の今村翔吾さんをはじめ、株式会社祥伝社と京都府書店商業組合に対して消防局長から感謝状を贈呈しました。

この感謝状は、昨年末の防火運動において、オリジナルブックカバーを作成するとともに、書店での配布にご協力いただいたことによるものです。

このブックカバーは、江戸時代の火消し集団の奮闘を描かれた今村翔吾さんのヒット作品「羽州ぼろ鳶組シリーズ火喰鳥」の表紙イラストと現代の消防士の勇敢な姿をデザインしたもので、約3万枚作成して各書店に配布しました。

今後も地元企業と連携し、効果的な広報に努めてまいります。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 海上保安部と女性職員意見交換会を実施

倉敷市消防局（岡山）

倉敷市消防局では、令和4年11月8日（火）、水島海上保安部の女性職員5名を水島消防署へお招きし、今年度2回目の女性職員意見交換会を実施しました。

この意見交換会は、互いの業務内容を紹介し、理解を深めるとともに、公安職として働く女性特有の悩みなどを共有することを目的に実施したものです。

当日は、前回に引き続き、和やかな雰囲気の中、活発な意見交換が行われました。

今後も、顔の見える関係を築き、情報の共有と連携の強化につなげてまいります。



【意見交換会後の記念撮影】

◆ 街頭広報を実施

東山梨消防本部（山梨）

東山梨消防本部では、令和4年11月9日（水）、秋季火災予防運動に当たり、管内のJR塩山駅自由通路及びJR山梨市駅南北広場において、街頭広報を実施しました。

これは、消防団と合同で、朝の通勤通学時間帯に駅を利用する約1000人に対して、火災予防啓蒙品を配布しながら効果的に火災予防及び住宅用火災警報器設置促進の呼び掛けを行ったものです。

今後も、消防団の協力をいただきながら横のつながりを大事にし、火災予防を呼び掛けてまいります。



【街頭広報の様子】

◆ 風船がつなぐ「防火の願い」

峡北広域行政事務組合消防本部（山梨）

峡北広域行政事務組合消防本部では、令和4年11月9日（水）、すみれ菰崎保育園の園児と火災予防の願いを込めた風船を大空に飛ばす取り組みを実施しました。

この中の赤い風船の一つが、翌10日（木）、午前7時頃、約160km離れた千葉市消防局緑消防署近くをジョギングしていた同消防署の油井副署長の前に導かれるように舞い降りました。

この風船に、「火遊びはしません」と書かれた短冊が添えられていたことから、同副署長はすみれ菰崎保育園に、園児が飛ばした風船が千葉県まで届いていることを連絡しました。それを聞いた園児や園長先生は、とても喜び、この話題が園児の家庭や市民に伝わることで火災予防運動の啓発活動につながりました。

この活動をきっかけに両消防機関が職員一丸となり、地域住民の負託に応えることを誓い合いました。



【すみれ菰崎保育園から風船を飛ばす様子】



【緑消防署で、受け取った風船と写真撮影】

◆ 消防職員OB「防火指導員」として防火指導を開始

北九州市消防局（福岡）

北九州市消防局では、令和4年11月8日（火）から、消防職員OB（60～72歳）14名を防火指導員（会計年度任用職員）として任用し、同指導員による緊急火災予防対策事業を進めています。

この事業は、令和4年4月と8月に発生した、北九州の台所として市民に親しまれてきた旦過市場を中心とする小倉北区旦過地区での大規模火災や、10月の八幡東区枝光本町商店街での火災など、半年足らずの間に3度も市場・商店街が被災したことを受け、類似火災の防止徹底を図るものです。

11月から今年度末までの5か月間、市内の木造飲食店（約650軒）に対して、現役時代に培った豊富な知識、経験及びノウハウを生かし、防火指導や消火訓練等、きめ細かな防火啓発活動を実施します。

今後も、現役職員とOBが一丸となって、火災予防対策の強化に努めてまいります。



【辞令交付式後の集合写真】



【防火指導の様子】

◆ 「令和4年度防災作品」の募集を行い防火・防災をPR

田川地区消防本部（福岡）

田川地区消防本部では、令和4年11月8日（火）、「令和4年度防災作品」の表彰式を行いました。

この防災作品は、毎年、管内の小・中学校から夏休みを利用して防災書、防災ポスター及び消防川柳の募集を行っており、今年度は2,168点の応募がありました。

応募があった作品の中から、種別ごと、学年ごとに入選者（金賞1名・銀賞2名・銅賞3名）と、防災ポスターについて消防長賞（1名）を決定しました。

入選作品は、秋季火災予防運動期間中、大型店舗に展示して防火・防災のPRに活用しています。また、同作品募集を通じて、少年期からの防火思想の高揚を図っています。



【表彰式の様子】



【入選作品の展示の様子】

◆ いざ、出陣じゃ～！ ー管内の災害を1件でも減らすためにー

東京消防庁（東京）

東京消防庁世田谷消防署では、令和4年11月9日（水）、同消防署開署90周年記念イベントの一環として、秋の火災予防運動出発式を行いました。

この出発式には、同消防署のポンプ車、救助車、消防活動二輪車等の車両と同消防署員、世田谷消防団員、世田谷女性防火の会会員、そして火災予防運動中に実施する繁華街査察に同行する世田谷区役所職員が参加しました。

出発式後は、消防車両による巡行警戒をはじめ、各家庭の防火の備えをアドバイスする防火防災診断、女性防火の会会員による巡回広報を実施し、さらには同区役所職員と連携して60件に及ぶ繁華街査察を実施しました。

火災多発期に向けて、「地域の方々、同区役所職員、消防団、消防署が一丸となって世田谷の安全安心を守る！」という熱い気持ちを再確認できた出発式となりました。



【出発式の様子】

◆ 中学校生徒会とタイアップした火災予防啓発活動を実施

東近江行政組合消防本部（滋賀）

東近江行政組合八日市消防署では、令和4年11月9日（水）、秋季火災予防運動に当たり、東近江市立船岡中学校において、登校時の生徒に火災予防啓発活動（声かけ運動等）を実施しました。

中学校における火災予防運動の啓発活動は、当消防本部では初めての試みであり、少年期の火災予防思想の高揚及び家庭における火災予防の啓発を目的として実施しました。

中学校生徒会とタイアップし、生徒自らも火災予防の啓発をすることで、火災予防の重要性を認識することができ、非常に効果的な広報活動となりました。

啓発品として、「火の用心」と記載したアルコールティッシュ等を配布し、コロナ感染予防についても併せて啓発活動を実施しました。



【生徒会とタイアップした啓発活動の様子】



【啓発活動時の集合写真】

◆ 第21回させぼっ子防火フェスティバルを開催

佐世保市消防局（長崎）

佐世保市消防局では、令和4年11月9日（水）、佐世保市体育文化館において、一般財団法人日本防火・防災協会との共催により、第21回させぼっ子防火フェスティバルを開催しました。

このフェスティバルでは、市内の幼年消防クラブを対象に、クラブ員とクラブ関係者ならびに消防職員が一堂に会して防火についての認識を新たにするとともに、相互の絆と親睦を深めることで、災害のない明るい街づくりに寄与することを目的として隔年で開催しているものです。

当日は、コロナ禍により3年ぶりの開催となりましたが、市内の幼年消防クラブ37クラブからクラブ員や指導者、保護者など約1,500人に参加いただき、盛大に開催することができました。

今回のフェスティバルが、クラブ員たちにとって、そして地域の方々にとって防火意識を高める良ききっかけの場となり、当市の安全な街づくりの一步へとつながることを期待します。



【消防音楽隊とコラボ演奏の様子】



【フェスティバルの様子】

◆ 郵便局と「地域安全に関する協定」を締結

有明広域行政事務組合消防本部（熊本）

有明広域行政事務組合消防本部では、令和4年11月9日（水）、秋季火災予防運動に当たり、九州で初となる郵便局との「地域安全に関する協定」を締結しました。

この協定により、今後、管内2市4町のすべての郵便局と火災予防・救急・防災減災に関する啓発や災害発生時の防災情報の提供などで連携協力を行います。

協定締結式終了後は、「住宅用火災警報器普及ステッカー」を160台の郵便配達用バイク・軽四輪車両に貼付して火災予防運動合同出発式を行い、一斉に広報活動をスタートしました。郵便局の機動力を生かし、多くの住民の目に触れることにより、さらなる火災予防啓発と住宅用火災警報器の普及を図ります。

今後も郵便局と連携協力を行い、地域安全の向上に努めていきます。



【締結式の様子】



【合同出発式の様子】

◆ 管理者点検を実施

御殿場市・小山町広域行政組合消防本部（静岡）

御殿場市・小山町広域行政組合消防本部では、秋季全国火災予防運動の一環として、令和4年11月11日（金）、職員が服務規程を厳守し規律ある態度で職務に精励するため、管理者点検を実施しました。

また、管理者点検では、令和4年度新規採用職員4名が、火災出動を想定した訓練の展示を行い、静岡県消防学校での半年間の研修成果を披露しました。

新規採用職員は、管理者、職員及び家族の前で緊張しながらも、節度を持って安全・確実・迅速に訓練を展示することができました。

管理者からは、「たくさんの人の前で緊張したと思うが、若々しく一生懸命な姿に感動した。」との言葉をいただきました。



【点検の様子】



【訓練展示の様子】

◆ 幼年消防クラブ員による防火パレード及び消防フェアを実施

天草広域連合消防本部（熊本）

天草広域連合北消防署では、令和4年11月11日（金）、秋季全国火災予防運動に当たり、住民の防火・防災意識の高揚を図るとともに、幼年消防クラブ員へ消防をより身近な存在と感じてもらうことを目的として、幼年消防クラブ員による防火パレードを実施しました。

当日は、「戸締り用心♪火の用心」の音楽に合わせ、拍子木を鳴らしながら地域住民に火災予防を呼び掛けました。ゴールの道の駅では、防火広報を呼び掛けるパンフレットのほか、クラブ員手作りのカレンダーや記念品の配布を行い、最後に集まった来場者の前で鼓笛演奏を行いました。来場者は立ち止まって嬉しそうに耳を傾けていました。

また、パレード終了後は消防フェアと題し、幼年消防クラブ員による放水体験やロープ渡過の体験を行い、消防の仕事に対する理解を深め「火の用心」を誓いました。



【記念品配布の様子】



【鼓笛演奏の様子】

◆ TOBA消防フェスタを開催

鳥羽市消防本部（三重）

鳥羽市消防本部では、令和4年11月12日（土）、TOBA消防フェスタを開催しました。

このイベントは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事前申し込み制とし、市内の小学生（3～6年生）と保護者を対象に各ブースを回るツアー方式で行いました。

当日は、天候に恵まれ、三重県防災ヘリコプター「みえ」も登場し、航空隊員からの説明や、ヘリコプターに乗り込んでの記念撮影などを行ったほか、綱渡り体験・煙体験・防火啓発コーナーなど、たくさんの体験をしてもらいました。小学生たちは熱心に耳を傾け、楽しく満足した顔をしていました。

今後は、さらに良いイベントとなるよう企画してまいります。



【消防フェスタの様子】

◆ 「福島ファイヤーボンズ」と火災予防啓発を実施

郡山地方広域消防組合消防本部（福島）

郡山地方広域消防組合消防本部では、令和4年11月13日（日）、秋季火災予防運動の一環として、プロバスケットボールBリーグ公式戦が行われた宝来屋郡山総合体育館で、プロバスケットボールチーム「福島ファイヤーボンズ」と火災予防啓発活動を実施しました。

当日は、当組合のイメージキャラクター「火まもり君」と職員が、試合前のアリーナに登場し、マイクパフォーマンスをしたほか、会場の内外にブースを設け、チラシや啓発グッズを配るなどして火の用心を呼び掛けました。

また、屋外では、はしご車や化学車の乗車体験も行い、それぞれに写真撮影をするなどして、火災予防や消防への興味・関心を広げました。



【「火まもり君」と「ボンズくん」と「レイグリッターズ」（チアリーディング）のメンバーで記念撮影】



【チラシを手に記念撮影】

◆ 防災フェア（～見て、楽しむ消防Show～）を実施

宮古島市消防本部（沖縄）

宮古島市消防本部では、令和4年11月13日（日）、秋季全国火災予防運動に当たり、当消防本部構内において、防災フェア（～見て、楽しむ消防Show～）を実施しました。

当日は、各車両資機材の展示をはじめ、消火器の取り扱い、応急手当指導員の考案による寸劇「窒息をしてしまったら・・・」と、救助隊員による救助訓練を披露しました。

多くの市民の来場があり、消防業務に対する理解や防災意識の高揚を図ることができました。



【寸劇の様子】



【救助訓練の様子】

◆ 事業所を対象に自衛消防隊消火指導会を開催

厚木市消防本部（神奈川）

厚木市消防本部では、令和4年10月17日（月）、11月14日（月）の2日間、自衛消防隊消火指導会を開催しました。

この指導会は、管内（厚木市及び清川村）の事業所を対象に、消火設備による初期消火の重要性について広く周知を図ることを目的として、今年度初めて開催したものです。

当日は、参加者全員に訓練用屋内消火栓設備（1号及び易操作性1号）の放水をしてもらい、大変有意義なものとなりました。

事業所の方がいざというときに有効な初期消火ができる体制を構築できるよう、今後も普及・啓発に努めてまいります。



【指導会の様子】

◆ 幼稚園・保育園等を対象に防火ぬり絵イベントを実施

埼玉東部消防組合消防局（埼玉）

埼玉東部消防組合では、令和4年11月9日（水）から15日（火）までの7日間、秋季火災予防運動に当たり、管内の幼稚園、保育園等の園児に防火ぬり絵を依頼し、園内や店舗に展示するイベントを実施しました。

このイベントには、73園2,122人が参加し、ぬり絵作品のうち店舗への展示希望があったもの1,166枚を管内の大型商業施設に展示しました。

このイベントで、幼少期における防火思想の普及を図るとともに、自由な発想によって彩られた鮮やかな防火ぬり絵を通して、ご家族や地域の方々へ火災予防を呼び掛けました。



【展示の様子】



【ぬり絵の様子】

◆ 横断幕を掲げて火災予防の啓発を実施

大津市消防局（滋賀）

大津市消防局では、令和4年11月9日（水）から15日（火）までの7日間、秋の火災予防運動に当たり、江若交通株式会社が運営する路線バスに、高校生がデザインした横断幕を掲げて火災予防の啓発を実施しました。

この横断幕は、市内高校の美術部が作成したもので、近江八景の一つ「堅田落雁」にちなみ考案された、高校のオリジナルキャラクターの「雁ちゃん」が放水する姿が描かれています。

作成した美術部の生徒は、「高校生でも防火や地域の安全に役立ってうれしい。」と話していました。

今後も、企業や教育機関などと連携し、地域に根差した火災予防広報を実施してまいります。



【横断幕の前で記念撮影】



【横断幕のデザイン】

◆ 防火餅つき大会を実施

周南市消防本部（山口）

周南市消防本部では、令和4年11月15日（火）、秋季火災予防運動行事の一環として、市内の幼稚園において、幼年消防クラブ員を対象とした防火餅つき大会を実施しました。

この餅つき大会は、これから空気が乾燥して火災が発生しやすい季節を迎えるに当たり、幼稚園、保護者、婦人防火クラブなど、地域の方の協力のもと、一層の防火意識の高揚を図ることを目的として実施したものです。

また、餅つき大会に併せて、消防車の展示、放水体験、防火講話なども実施しました。今後も地域の方との交流を深め、充実した火災予防広報に努めてまいります。



【餅つき大会の様子】



【防火講話の様子】

◆ 消防車両の寄贈を受け感謝状贈呈式を実施

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部（秋田）

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部では、令和4年11月16日（水）、有限会社オートステーションアキタ様（秋田県羽後町）から消防車両（スズキ：ジムニー）1台の寄贈を受け、感謝状贈呈式を実施しました。

受領した車両は、災害業務のほか、連絡業務や資機材搬送など、多岐にわたり有効活用させていただきます。

今後も、消防体制のさらなる充実と向上を図り、地域住民の安心・安全の確保に努めてまいります。



【感謝状贈呈式の様子】



【感謝状贈呈式後の記念撮影】

◆ 第12回水俣芦北地域幼年消防大会を実施

水俣芦北広域行政事務組合消防本部（熊本）

水俣芦北広域行政事務組合消防本部では、令和4年11月16日（水）、芦北町民総合センターにおいて、第12回水俣芦北地域幼年消防大会を実施しました。

この大会は、管内の幼年消防クラブが一堂に会し、防火に対する誓いを新たにすることで、防火防災に対する意識の向上と相互交流を図ることを目的として、昭和61年から実施しているものです。

防火演技では、大人顔負けの通常点検や和太鼓など、各幼年消防クラブの個性の溢れた発表を行い、演技の最後には、熊本県営業部長兼しあわせ部長の「くまモン」が登場し、大いに会場を盛り上げてくれました。

また、最後に防火の誓いを全員で行い、防火・防災意識を高めました。

今後も、将来の地域防災活動の担い手の育成に取り組んでまいります。



【消防大会の様子】

◆ 消防フェアを開催

小牧市消防本部（愛知）

小牧市消防本部では、令和4年11月19日（土）、市中央図書館・にぎわい広場において、消防フェアを開催しました。

このフェアは、消火器体験・救急体験・煙体験などを多くの市民に体験してもらい防火意識の向上を図ることを目的に開催したものです。

また、当市は一般社団法人全国消防機器協会が実施する、住宅用火災警報器等の配付モデル事業実施地区に選ばれました。そこで、住宅防火対策の一環として住宅用火災警報器等の必要性を認識していただくため、市内在住の65歳以上の高齢者を対象に、贈呈された住宅用火災警報器100個、住宅用消火器25本、防災毛布25枚の抽選のご案内をし、申し込みをしていただきました。

当選者には、後日、ご自宅を訪問し、配付するとともに、住宅用火災警報器の取り付けが困難な世帯には、消防職員が取り付けをする予定としています。



【消防フェアの様子】

消防庁通知等

◆ **降積雪期における防災態勢の強化等について**

(中防消第8号、令和4年11月18日)

中央防災会議会長（内閣総理大臣）から関係都道府県防災会議会長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

貴殿におかれては、日頃から各般の施策を通じて災害対策の推進に御尽力をいただいているところであるが、例年、降積雪期においては、依然として災害による犠牲者が発生している状況にある。

昨冬期も、除雪作業中の事故などにより、死者99名、重傷者585名等、多くの人的被害が発生した。今年の寒候期予報（9月20日発表）では、今冬の降雪量は「東・西日本日本海側では平年並か多い」と見込まれている。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/221118_bousai_1.pdf) に掲載されています。

◆ 「**今秋以降の感染拡大で保健医療への負荷が高まった場合の対応について**」への対応について

(事務連絡、令和4年11月21日)

消防庁救急企画室から各都道府県消防防災主管部（局）あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

今般、「今秋以降の感染拡大で保健医療への負荷が高まった場合の対応について」（令和4年11月18日新型コロナウイルス感染症対策本部決定）【別添】において、保健医療への負荷が高まった都道府県が、地域の実情に応じた判断により、「医療ひっ迫防止対策強化宣言」又は「医療非常事態宣言」を行い、住民及び事業者等に対して、協力要請又は呼びかけを実施することが示されました。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/32e5f7db13a4e2f18502781c42c8c071d1731eae.pdf>) に掲載されています。

【問合せ先】

連絡先 消防庁救急企画室

担当 岩田補佐、神尾係長、嵯峨田事務官

TEL：03-5253-7529

FAX：03-5253-7532

E-mail：kyukyukikaku@soumu.go.jp

◆ 「立入検査標準マニュアル」及び「違反処理標準マニュアル」の改正について（通知）
（消防予第598号、令和4年11月21日）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

令和3年12月17日に発生した大阪市北区ビル火災を受けて、国土交通省とともに開催した「大阪市北区ビル火災を踏まえた今後の防火・避難対策等に関する検討会」の検討結果等を踏まえ、「立入検査標準マニュアル」及び「違反処理標準マニュアル」（平成26年3月4日最終改正）を、下記のとおり改正しましたので通知します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ
(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/9198c34fea5e6a809306adf7356f8f1fa5358b15.pdf>)
に掲載されています。

◆ オミクロン株による流行対応を踏まえた「保健・医療提供体制確保計画」の入院体制を中心とした点検・強化への対応について

（事務連絡、令和4年11月22日）

消防庁救急企画室から各都道府県消防防災主管部（局）あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

今冬における新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行を想定した対応については、「季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症に対応する外来医療体制等の整備への対応について」（令和4年10月18日付け消防庁救急企画室事務連絡）により、発熱患者等の相談体制の強化と周知徹底、救急医療のひっ迫回避に向けた対応等における関係者との連携など必要な対応に努めていただくようお願いしたところです。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ
(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/65acc456a3316039739b2eec2b7892f21d505948.pdf>)
に掲載されています。

【問合せ先】

連絡先 消防庁救急企画室

担 当 （救急車利用マニュアル・#7119 に関すること）

岩田補佐、神尾係長、嵯峨田事務官

（移送体制・救急医療のひっ迫回避等に関すること）

飯田専門官、岡澤補佐、石田係長、篠原事務官

TEL：03-5253-7529、FAX：03-5253-7532

E-mail：kyukyuanzen@soumu.go.jp

報道発表

◆ 消防用設備等の定期点検に活用できる新たなデジタル技術の公募

(令和4年11月21日、消防庁)

消防庁では、消防用設備等の定期点検について、現行の点検手法等にとらわれず、最新のデジタル技術等を活用して効率的・効果的に点検の目的を達成するための方策や点検制度のあり方を検討しています。

このたび、このような検討に資するデジタル技術等について、技術公募を行うこととしましたので、公表します。

なお、今後、消防庁では、応募されたデジタル技術等を踏まえ、現在の点検基準と同等以上の安全を担保することを前提として、デジタル技術等を活用することによる点検の技術中立化や点検周期の延長等を進めていくこととしています。

ー以下省略ー

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/20221121_yobo_1.pdf) に掲載されています。

(連絡先)

消防庁予防課（設備係）

担当：関、三橋

電話：(代表)03-5253-3432

(直通)03-5253-3432

mail : m.mitsubishi@soumu.go.jp

情報提供

◆ 第2回医療従事者・歯科医療者・消防職員等のための複合災害対策講習会の開催について

NPO法人NBCR対策推進機構

後援：全国消防長会

NPO法人 NBCR対策推進機構は、全国消防長会のご後援を得て、日常生活に潜む複合災害、特にCBRNE災害に対し医療従事者・歯科医療者・或いはファースト・レスポnderとして活動する消防職員の皆様を対象に、「第2回医療従事者・歯科医療者・消防職員等のための複合災害対策講習会」を次のとおり開催いたします。

1 開催日時

令和5年2月19日（日） 9時～17時

2 受講方法

会場受講（株エピオスセミナールーム：東京都江東区富岡1-26-15）ならびにオンライン受講（Zoom）

3 受講対象者

消防職員、医療従事者、歯科医療者他

4 受講料

2万円（支払は後日でも可）

5 申込方法

NBCR対策推進機構HP (<http://www.nbcr-taisaku.com>) 掲載の本講習会案内をご覧の上、担当の阿部 (info@nbcr-taisaku.com) あてメールにてお申込みください。

6 申込期限

令和5年1月30日（金）締切。（但し、受講者合計が30名に満たない場合には延期し、受講申込済み者には個別にその旨をご連絡いたします。）

7 プログラム

「第2回医療従事者・歯科医療者・消防職員等のための複合災害対策講習会」

オリエンテーション 9時～9時10分

井上忠雄（NBCR対策推進機構理事長、元陸上自衛隊化学学校長）

(1) 災害と医療 9時10分～10時

－複合災害におけるCBRNE災害対策の重要性－

細川秀一（日本医師会常任理事）

(2) 災害と歯科医療 10時～11時

－複合災害時における歯科医療の役割－

柳川忠廣（日本歯科医師会副会長）

○休憩 11時～11時10分

(3) 複合災害と現場の対応 11時10分～12時

－口腔管理の重要性－

米山武義（米山歯科クリニック院長、POIC研究会会長）

○休憩（昼食） 12時～12時50分

(4) 日常生活に潜む感染症対策 12時50分～13時50分

－複合災害における感染症対策の重要性－

加來浩器（防衛医科大学校 広域感染症疫学・制御研究部門 教授）

(5) 放射線防護対策 13時50分～14時40分

－核施設における放射線災害に如何に対応するか－

富永隆子（国研）量研放射線医学研究所、放射線緊急事態対応部被ばく医療グループリーダー

(6) 日常生活に潜む化学災害対策 14時40分～15時30分

－複合災害における化学剤－

箱崎幸也（Medock総合健診クリニック顧問、NPO法人国際緊急医療・衛生支援機構（IEMS-Japan）理事長）

○休憩 15時30分～15時40分

(7) CBRNE災害と医療 15時40分～16時30分

－CBRNE災害時の医療機関の対応－

山口芳裕（杏林大学医学部主任教授 高度救命救急センター長）

8 お問い合わせ先

NBCR対策推進機構事務局：info@nbc-r-taisaku.com（担当：阿部）

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0416）1ページ、機関誌「ほのお」2022年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 高田

原稿データは、kikakoho@fcaj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 高田

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321 「週間情報」担当：企画課 石原

原稿データは、weekly@fcaj.gr.jpに送信願います。